

事業番号	16 01 02	事業改善シート（令和7年度実施事業分）				☐ 当初要求	☐ 当初予算案	☐ 補正予算案	☒ 点検
事業名	交通安全対策の推進事業	部局	警察本部	課・室	交通部				
		実施期間	S29 ~	E-mail	police-keimu @ pref.nagano.lg.jp				

1 現状と課題

令和5年中の県内の交通事故死者数は42人で、統計をとり始めた昭和23年以降最少となった。 その中で、死者数全体に占める高齢者の割合は約6割を占めるほか、高齢運転者による重大事故が頻発している実態などを踏まえ、高齢者の交通事故防止対策を最重点としつつ、各種交通安全対策を推進していく必要がある。

2 事業目的

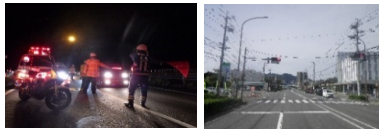
交通事故の減少や交通の円滑化を図り、日本一安全・安心な信州を目指す。

3 事業目的を達成するための取組

交通安全意識の醸成	
・高齢運転者に対するドライブレコーダーを活用した教育を始めとする交通安全教育の実施 ・老朽化した交通安全教育車「チャレンジ号」の更新及び交通安全教育資機材の整備 ・横断歩道ルール・マナーアップの推進	
道路交通秩序の維持	
・事故多発路線等における白バイ・パトカーによる街頭活動 ・交通事故に直結するおそれのある違反に重点を置いた交通指導取締り ・交通事故事件捜査の高度化	
安全で円滑な交通環境の整備	
・交通事故防止と交通の円滑化に資する交通安全施設の整備	
交通安全施設整備事業（11月補正）	
・小中学校の周辺道路や幹線道路の道路標示の補修を早期に実施するため、令和8年度に実施予定の事業費の一部について債務負担行為を設定するもの。	



交通安全教育



交通指導取締り



交通安全施設

4 成果指標

（推移の凡例 : 改善 : 悪化 → : 変化なし — : 数値なし）

No.	指標名	単位	R5年度	R6年度	R7年度		R7年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移		
	交通安全教育車(チャレンジ号)による交通安全教育実施回数	回	206	205		202		190 達成	過去5年の平均実施回数を上回る190回を目標とする。

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 （印が付いているものは主要目標）	単位	直近3か年の状況						目標	
				年/年度	数値	年/年度	数値	年/年度	数値	年/年度	数値
1-6	県民生活の安全確保	交通事故死者数	人	2023 (R5)	42	2024 (R6)	57	2025 (R7)	44	2025 (R7)	45

6 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 （予算現額）	うち一般財源		
R7年度	0	2,938,891	181,018	2,757,873	1,107,338	2,706,315	-
R6年度	0	2,946,081	79,922	2,866,159	1,126,335	2,831,877	-
R5年度	203,842	2,800,657	145,774	2,858,725	705,172	2,799,793	-

事業番号	16 01 02	事業改善シート（令和7年度実施事業分）			☐ 当初要求 ☐ 当初予算案 ☐ 補正予算案 ☒ 点検			
事業名	交通安全対策の推進事業			部局	警察本部	課・室	交通部	

7 主な取組実績と成果

交通安全意識の醸成

・交通安全教育車（チャレンジ号）による交通安全教育を県下202か所において実施し、4,419人が体験したほか、横断歩道ルール・マナーアップ対策は年間を通して取り組む施策に位置付け、「横断歩道ルール・マナーアッププロジェクト」として各種啓発活動を実施したことで、JAFの調査では信号機のない横断歩道における一時停止率は、10年連続全国1位という結果であった。



横断歩道ルールマナーアップ活動

交通安全教育車（チャレンジ号）

道路交通秩序の維持

・自転車を含む飲酒運転を始めとした悪質・危険な運転者を検挙するとともに、定置式・可搬式の速度測定装置を使用した速度取締りによる幹線道路や生活道路の交通事故抑止対策のほか、重大事故に直結する横断歩行者妨害や携帯電話使用等（いわゆる「ながらスマホ」）の取締りを行うことにより交通事故の抑止を図った。



信号機の制御機の更新



信号灯器のLED化

安全で円滑な交通環境の整備

・交通事故防止と交通の円滑化を図るため、交通信号機の新設4か所を始め老朽化した信号機の制御機の更新（192基）や視認性の向上と省エネ効果をもたらす信号灯器のLED化（約2,700灯）を実施するなど交通事故の抑止を図った。

交通安全施設整備事業（11月補正）

・道路標示の早期補修に資するため、150,000千円の債務負担行為を11月補正で設定した。

8 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標	交通安全教育車(チャレンジ号)による交通安全教育実施回数	R6年度推移	R7年度推移	達成状況	達成
・交通安全教育車（チャレンジ号）を利用し、県内33市町村にて、平日に限らず週末においても各地のイベント会場等に出動し、交通安全教育を実施した結果、目標値の190回を上回った。					

9 今後の事業の方向性

(1) 上記7、8及び県民の意見等を踏まえた課題

・令和7年中の交通事故発生件数、死者数、負傷者数はいずれも減少したものの、全体の死者数44人のうち、高齢死者数は22人であり、割合が半数を占めているほか、高齢者が関わる交通事故が全体の約4割（43.3%）を占めるなど、引き続き、高齢者の交通事故防止が課題である。

・また、交通事故抑止のため、重大事故に直結する悪質・危険な違反行為に対する取締りを強化していくほか、令和8年4月1日から開始された自転車に対する交通反則通告制度（いわゆる青切符制度）について一層の周知が必要である。

(2) 事業改善の方策

・令和7年中の交通事故死者数及び負傷者数は前年に比べて減少したものの、高齢ドライバーが第1当事者になる事故の割合はH28年には23.6%であったところ、昨年は31.1%まで上昇し、今後も増加が懸念されることから、高齢者の交通事故防止を最重点とし、チャレンジ号やAエドライブレコーダーを活用した「参加・体験・実践型の交通安全教育」を推進するとともに、次世代を担う子供を始め県民の安全を確保するため、交通事故に直結する悪質・危険違反取締りのための装備資機材及び交通事故のない安全で快適な交通環境整備のための信号機等交通安全設備の充実を図る。

事業名	交通安全対策の推進事業	部局	警察本部	課・室	交通部
-----	-------------	----	------	-----	-----

細事業No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
1	交通関係講習経費		233,001 千円	285,511 千円	225,685 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	交通関係講習経費	直接 委託	・講習用教材、講習用機器の整備等 ・受講通知、受講者管理業務 ・運転シミュレータ、各種講習用機器のリース料 ・安全運転管理者講習、免許証更新時講習等各種講習に要する委託料		
			安全運転管理者講習：年間67回、12,175人を対象に実施		

細事業No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
2	交通安全教育推進事業		16,768 千円	17,152 千円	21,915 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	交通安全教育推進事業	直接 委託	・交通安全運動活動への支援、交通安全教育知識向上のための講習会の実施 ・高齢者を中心とした運転適性診断の実施、ドライブレコーダーのサポート機能を活用した交通安全教育、チャレンジ号等による交通安全教育の実施 ・老朽化した交通安全教育車「チャレンジ号」の更新及び交通安全教育資機材の整備		
		負担金	・交通事故ゼロチャレンジ事業への負担金 ・チャレンジ号による交通安全教育：延べ202回、延べ4,419人が受講 ・A Iドライブレコーダーによる交通安全教育：435人を対象に実施		

細事業No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
3	交通指導取締経費		153,724 千円	245,950 千円	178,987 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	交通指導取締経費	直接 負担金	・交通指導取締りに要する経費、交通指導取締機器の整備、修繕等に要する経費 ・日本道路交通情報センター、子供自転車大会等の負担金 ・長野県交通安全協会の交通安全対策事業に対する補助金		
		補助金	飲酒運転検挙件数464件（R7年中） 日本道路交通情報センター放送回数5,841回		
2	交通事故捜査経費	直接	・交通事故捜査用資機材等の整備、交通事故自動記録装置点検料等 ・交通基本情報管理システムの維持管理費		
			ひき逃げ事件検挙率70.7%、危険運転致死傷罪の検挙14件（R7年中）		

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
4	交通安全施設整備事業		2,163,026 千円	2,005,243 千円	2,051,861 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	交通安全施設整備事業	直接	・交通信号機の新設、改良（LED・歩車分離等）、更新整備 ・道路標識・標示の整備等 ・11月補正債務負担設定額 150,000千円		
			交通信号機新設4か所、信号灯器のLED化約2,700灯、制御機更新192基		

細事業 No.	細事業名		R5年度 決算額	R6年度 決算額	R7年度 決算額
5	駐車対策推進事業		233,274 千円	233,383 千円	227,867 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	駐車対策推進事業	委託	・道路使用許可申請された工事等について、条件の履行、原状回復等の調査委託 ・自動車保管場所現地調査、証明・届出事務の委託 ・駐車監視員による放置車両確認事務委託 ・放置違反金収納に要する経費		
			駐車監視員による放置車両確認標章貼付件数891件（R7年中） 自動車保管場所現地調査委託件数111,378件		